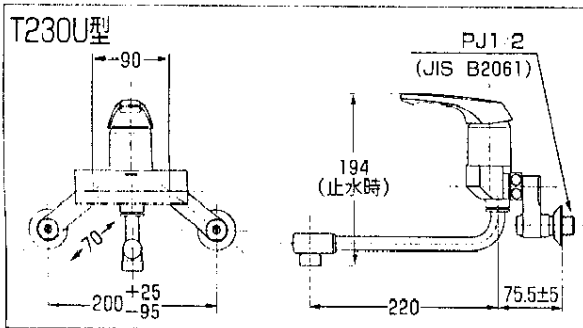
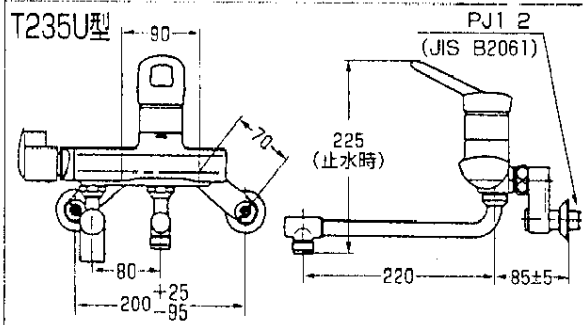


シングルレバー混合栓施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

完 成 図

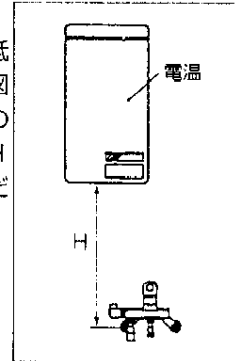


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

3. 本製品には、給湯圧力と給水圧力の差圧を少なくするため本体水側に減圧板を設けています。本体取付けの際には、本体水側に減圧板が入っていることを確認の上、取付けてください。(分解と点検の図を参照ください)

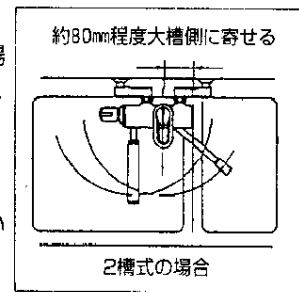
※取付位置 (I)

●混合栓の給湯圧力は電温との高低差で決まります。したがって右図に示すように電温下端から水栓の止水栓取付位置までの垂直距離Hをできるだけとるようにしてください。



※取付位置 (II)

●混合栓は流しが一槽式の場合は槽の中央に取付けてください。
●2槽式の場合は右図のように2槽の中央より約80mm大槽側に寄せるとより使いやすくなります。



使用条件

1. 使用水圧

(1) 給水圧力 { 最低圧力…… 0.05 MPa { 0.5 kgf/cm² }
最高圧力…… 0.75 MPa { 7.6 kgf/cm² }

給湯圧力…電温のヘッド圧 (※取付位置 (I) 参照)

(2) 湯側は、電温からのため給湯圧力が低くなります。したがって給水圧力が高い際、水側の止水栓を絞ってお使いください。

2. 湯水を逆配管しないでください。

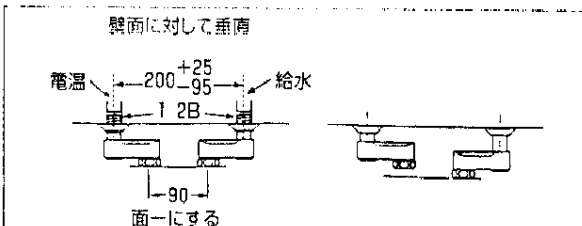
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため、最短距離で配管してください。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓の取付け



使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。レバーハンドルを速く操作しようとするとき抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。万一、レバーハンドルがロックして水が止まらなかった場合は、一度全開にして再度ゆっくり閉めてください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意しましょう。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

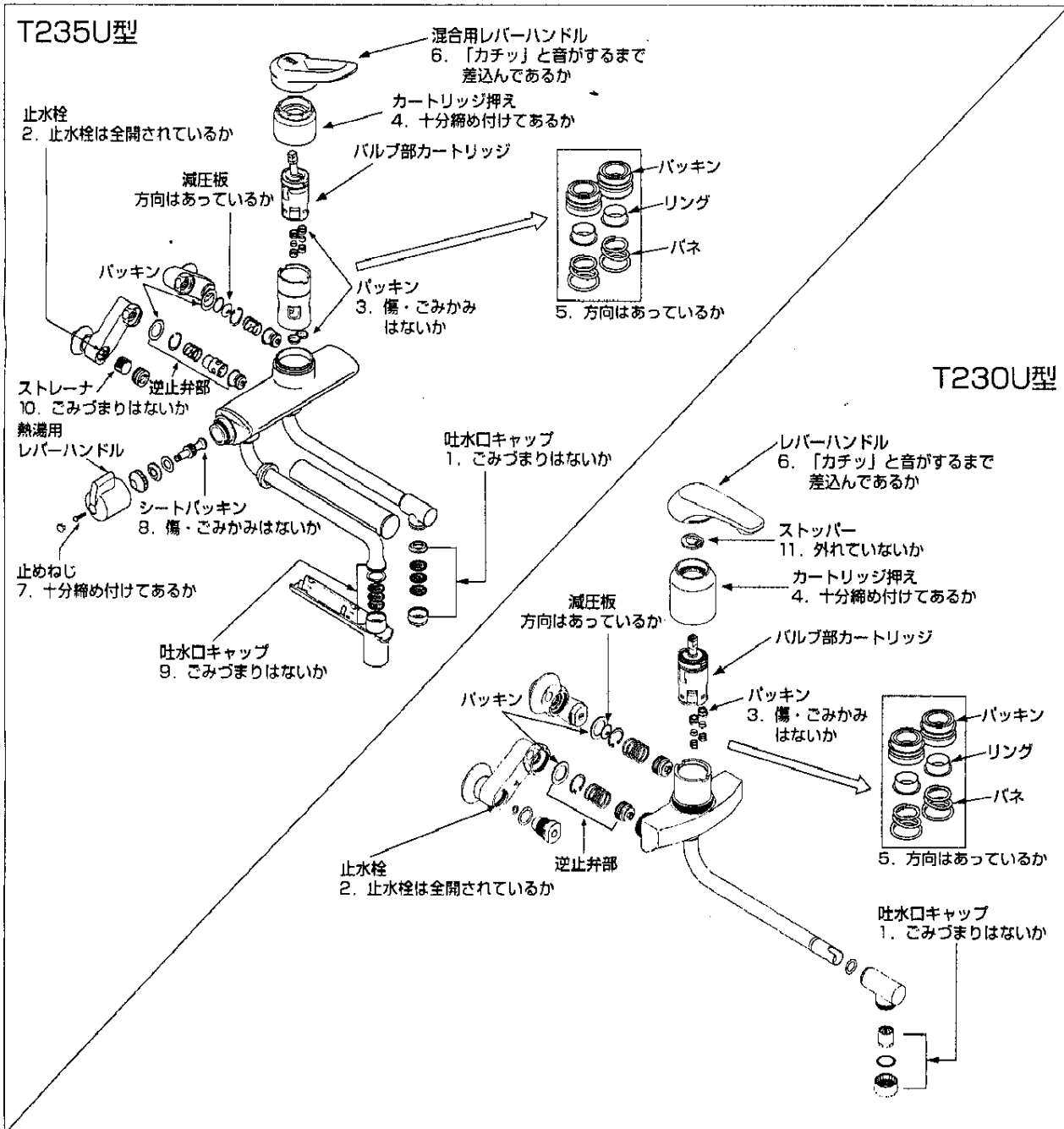
分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現象	部位	点検項目	備考
吐水量が少ない。	混合スパウト	1・2・10	10はT235U型のみ
	熱湯用スパウト	2・9・10	T235U型のみ
水が止まらない。 ハンドル部から水が漏れる。	混合スパウト	3・4・5・11	11はT230U型のみ
	熱湯用スパウト	8	T235U型のみ
吐水温度不良	混合スパウト	1・2	
ハンドルがガタつく。	混合スパウト	6	
ハンドルが抜ける。	熱湯用スパウト	7	T235U型のみ



※付属の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。

手渡しできない場合は工事完了後ハンドル等に吊り下げておいてください。